

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 220-0022

住 所 横浜市西区花咲町7-150 5F

氏 名 株式会社 トヨタレンタリース横浜
代表取締役 松浦良彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 トヨタレンタリース横浜		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区貝塚1-1-3		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	運輸 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	70	物品賃貸業
主たる事業 の内容	自動車のレンタル		
事業者の規模	<input type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	kL
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車の台数	360 台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ~ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

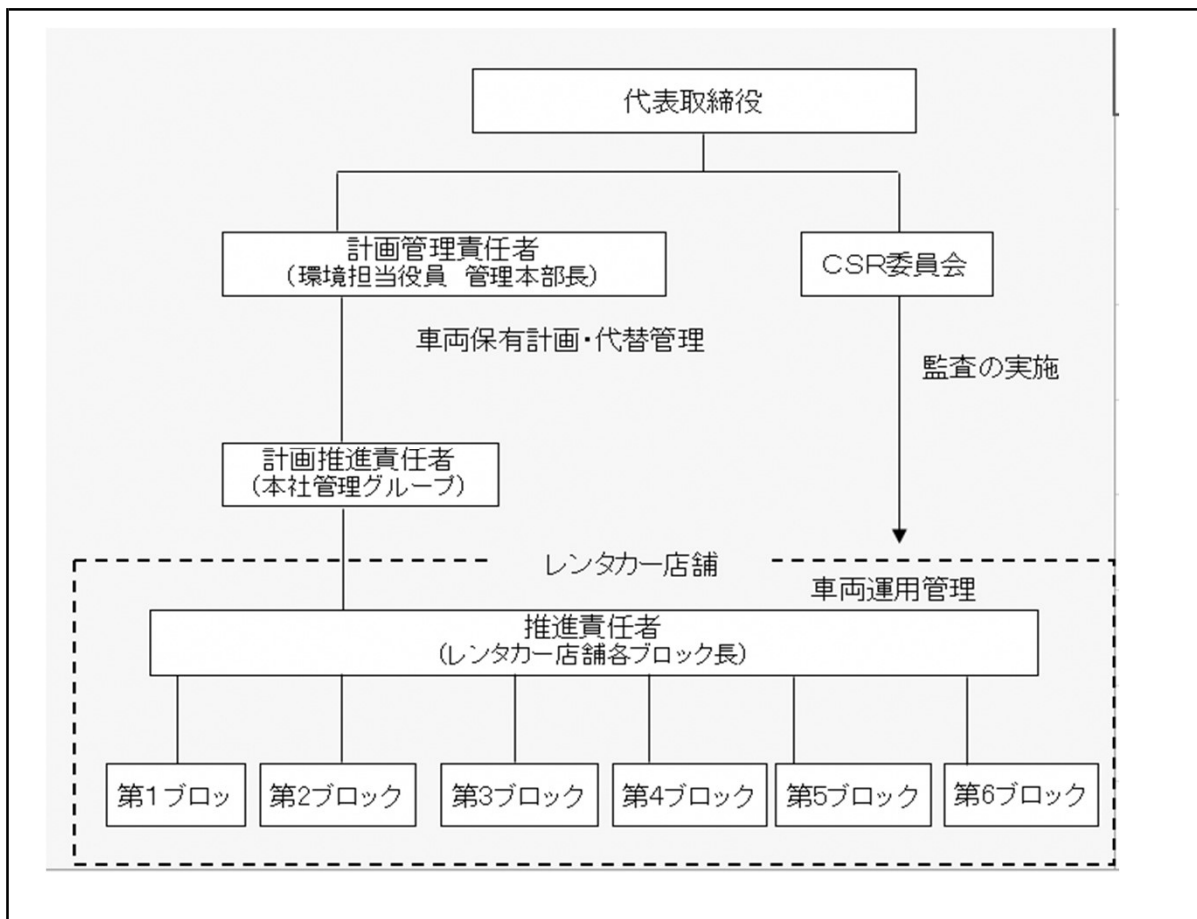
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

○低公害車・低燃費車の導入
 レンタカーの導入にあたり、可能な限りハイブリッド車などの低公害車・低燃費車を積極的に導入していく。
 ○自動車の適正走行に向けた装備品の準備
 走行効率を向上させるため、ナビゲーション・ETC等の装備を積極的に搭載する。
 ○エコドライブの促進
 従業員のみならず、レンタカーをご利用されるお客様にもエコドライブを呼びかける。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- ・ハイブリッド車など低燃費車の導入をふやし、温室効果ガスの排出量を削減していく。
- ・エコドライブの推進（レンタカーユーザーへの周知）を継続して実施していく。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	835 835	(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	826 826	(基) (調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	9 9	(基) (調)	
削減	率	(基) (調)	% %	(基) (調)	1.1 1.1	% %	(基) (調)

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	852 852	(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	826 826	(基) (調)	
削減率(目標)	(基) % (調) %		(基) 3.1 % (調) 3.1 %		(基) % (調) %	
削減率(第1年度)	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
削減率(第2年度)	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
削減率(第3年度)	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(3) 目標設定に関する説明

車の保有から利活用への変化や社会的インフラとしての役割の増加からのレンタカー需要にお応えすべく、レンタカーの保有増加が経営目標として掲げられている。保有台数増加とレンタカーご利用ユーザーの増加から今後3年間も排出量は増加していくことは避けられない状況となっている。レンタカー保有車両における低燃費車の保有をあげていくこと、特に乗用車におけるハイブリッド車両の比率をあげていくことで、原単位を削減する目標を掲げた。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	ハイブリッド車など低燃費車両の導入を増やしていく。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

6 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項 (3号該当者等)

(1) 燃費

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
燃費 (km/L)	別紙参照				別紙参照

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	1 台
小型貨物自動車	106 台
大型バス	0 台
マイクロバス	6 台
乗用自動車	247 台
特種自動車	0 台

イ 対象自動車の内訳

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
次世代自動車	電気自動車				
	プラグインハイブリッド自動車				1台
	ハイブリッド自動車	92台			99台
	燃料電池自動車				
	その他				
上記以外	268台				297台

(3) 乗用車の電気自動車・燃料電池自動車の導入割合

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
導入割合 (%)	0%				0%

(4) 目標設定に関する説明

レンタカー車両は乗用車から貨物車、マイクロバスなど多岐にわたる車種で様々な種類の車両の保有が求められている。小型の低燃費車やハイブリッド車はもとより、燃費が悪い分野のトラックやバス、福祉車両も保有している。一概にレンタル車両がすべて低燃費車にすることは難しい状況。

ビジネスや観光など今後ますますレンタカー需要があがるなか、保有レンタカーの削減は難しい状況であるが、ハイブリッド車の保有比率をあげること、エコドライブへの誘導などで排出量削減につなげていく。

(5) 計画期間の燃費の向上、次世代自動車導入の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する燃費の向上、次世代自動車導入等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第5及び6等を参考に記載してください。)

<p>計画</p>	<p>保有に占めるハイブリッド比率を25%とする</p>	
<p>第1年度</p>		
<p>第2年度</p>		
<p>第3年度</p>		
<p>計画期間における燃費の向上、次世代自動車導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>		
<p>上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)</p>		

車種別燃費

燃費 (km/L)	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
ガソリン自動車等 1.4t未満	22.10				22.10
ガソリン自動車等 2.2t未満	18.91				18.91
ガソリン自動車等 2.2t以上	17.49				17.49
バス 10t未満	4.50				4.50
バス 10t以上					
貨物 3.5t以下かつ1196kg未満	12.64				12.64
貨物 3.5t以下かつ1196kg以上					
貨物 7.5t未満					
貨物 7.5t以上					

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD				

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの計画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	